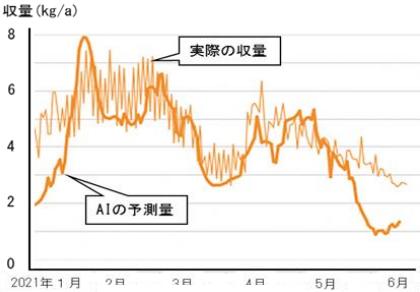


地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【A I いちご生産イノベーションモデル創出事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	203,500千円 (50,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・経験や勘に頼っていたいちごの生産管理から脱却し、生産性の飛躍的な向上と需要への対応力を高める。 ・様々ないちごの品種に応用していくことで、将来的に、農業所得の増加を実現する。 ・ゆとりある豊かないちご経営を確立し、新規就農者が次々と参入する環境を生み出す。 ・いちごを核とした地方創生を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ いちご新品種生育・収量予測ツールの開発 「いちご新品種生育・収量予測ツール」を開発し、モデル地域で活用や県全域への展開を行う。 ・精度向上に向けた予測ツールの改良 (委託料) 30,000千円 ○ 次世代栽培ツールの開発 生育状況の分析やいちご生育・収量予測ツールの補正を実施する。 ・予測ツールへ反映 (委託料) 20,000千円 ○ 出荷予測に基づく流通・販売体制の確立 予測ツールから得られた出荷量予測に基づき、有利販売 (売り場づくり、優先購入等) に向けた戦略的な取組を推進する。 ・検討会の開催 (委託料) 500千円  画像解析システム  収量 (kg/a) 2021年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 実際の収量 AIの予測値 収量予測ツール  AIの活用により生産性の向上や需要への対応力を高め、いちごを核とした地方創生を実現する		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①モデル地域におけるいちご新品種「栃木i37号」の10a当たりの収量 (+4.5 t) ②本県のいちご栽培を志向する新規就農者数の増加 (+15人)		
	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html	

申請者	栃木県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	253,168千円 (41,616千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・林業産出額の増加や、高度な技術・知識をもった林業労働者の確保・育成に向けた対策の推進を図る ・森林資源情報を的確に把握し、効率的な施業を実施するとともに、施業地の集約化等を図る ・未来技術の活用により、林業における現場の自動化・省力化等を実現し、労働生産性と安全性の向上を図る ・木材を適切に流通させるため、規格・品質など需要に応じた生産体制(マーケットイン)の構築を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○森林資源情報のデジタル化・可視化 ・県内民有林における航空レーザ計測・森林資源解析等の実施(林野庁補助事業活用) ○自動化林業機械等を活用した労働生産性等の実証 ・未来技術の試験的導入 (委託料) 37,434千円 ・労働生産性の調査・分析等 (委託料) 4,182千円 ○生産管理のICT化 ・生産管理システムに係る基礎調査、システム構築等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①林業産出額 (+ 30億円) ②木材生産性(主伐)※モデル地区 (+ 20m³/人日) ③労働災害ゼロの施業地※モデル地区 (+ 15地区) ④林業新規就業者数 (+ 15人/5年) 関連URL https://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/smartringyou.html		

事業概要【Society5.0の実現に向けた栃木県DX推進事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	826,364千円（179,554千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	①デジタルで解決する仕組みづくりプロジェクト 企業、大学、県、市町等の協働により、デジタル技術を積極的に活用して地域課題を解決し、Society5.0を見据えた県全体のDXの推進を図る。 ②未来技術等を活用した地域経済活性化プロジェクト 未来技術等の導入・利活用による次世代産業の創出や、サービス産業及びものづくり産業の生産性向上・高付加価値化の実現を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	○地域課題を企業、大学、県、市町等が共有し、協働して問題の解決に取り組む新たなプラットフォーム「デジタルハブ」の創設・運営 ・「デジタルハブ」の構築・運営（委託料）18,388千円 ・周知広報費（委託料）3,658千円 ・研修費（委託料）1,540千円 ○未来技術の導入・利活用による次世代産業の創出・育成 ・「とちぎビジネスAIセンター」運営（委託料）52,190千円 ○未来技術等活用によるサービス産業の発展 ・デジタル化等社会経済情勢の変化に対応するDXの推進を目的とした、ビジョン・戦略の策定や組織改革等のコンサルティング支援（委託料）27,304千円 ○ものづくり産業におけるスマートファクトリー化推進 ・スマートファクトリー伴走支援（委託料）6,842千円 ①デジタルで解決する仕組みづくりプロジェクト 県民や企業等が抱える地域課題 デジタルハブを活用して解決 県全体のDX推進 ②未来技術等を活用した地域経済活性化プロジェクト 本県サービス産業のIT等の導入率は5割程度 未来技術の導入・利活用による次世代産業の創出・育成 次世代産業の創出 本県のAI又はIoTを導入する事業所の割合2.9% 未来技術等活用によるサービス産業の発展 ものづくり産業におけるスマートファクトリー化推進 サービス産業及びものづくり産業の生産性向上・高付加価値化 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「デジタルハブ」により解決した地域課題プロジェクト数（+13プロジェクト） ②AI又はIoTを導入する事業所の割合（+20.1%） ③商業・サービス業事業者の経営革新計画承認件数（+140件） ④スマートファクトリー化に取り組む企業数（+40社）		
	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html	

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,502千円（12,884千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・新たな地区の担い手の確保・育成を図る ・地域資源を活かした住民主体による観光・交流振興を行う ・地区の活性化を図るとともにその魅力を発信することで、転入者の増加を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○体験型観光施設「名草ふるさと交流館」の活用 ・拠点運営（委託料） 5,527千円 ○体験型観光を取り入れた情報発信やプロモーション活動の推進 ・農業体験プログラム等交付金 1,857千円 ・里山体験移住ツアー造成（委託料） 2,000千円 ・プロモーション動画作成（委託料） 1,500千円 ○空き家のリノベーションとライフスタイルのPR ・大学との共同研究（委託料） 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①足利・名草ふるさと自然塾運営協議会の新規参画者数（+12人） ②事業年間利用者数（+1,100人） ③新名物年間販売額（+120万円） ④名草地区への年間転入者数（+14人）		関連URL https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/goverment/000085/000472/p005168.html

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	636,940千円（141,970千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・オンライン相談やリアル体験の組合せ等、若者世代のニーズの高い事業展開を行い、若者等のUターン・地元就職・移住定住の促進を図る。 ・子育て世代のwell-beingを実現したいというニーズに応え、あらゆる人が活躍できる就労環境の整備を進め、家族帯同での移住定住を図る。 ・本県で技能・技術を身につけ、優れた人材として活躍することを目指す移住希望者に向けた情報発信・相談対応・人材育成・就職支援を集約・一元化したとちぎ職業人材カレッジの開設・運営などに取り組むことで、本県への移住定住を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若者等への移住定住支援 ・U I J ターン就職の促進（委託料）7,634千円 (1)学生と県内企業のマッチングの場となるフェアの開催 (2)U I ターン就職促進協定締結校と企業の情報交換会実施 (3)とちぎ女性活躍応援団登録企業のPR ○子育て世代のwell-being（心ゆたかな暮らし）の実現 ・企業の働き方改革を応援（委託料）30,138千円 (1)企業の担当者が抱える課題等を解決する講座の実施 (2)アドバイザー派遣、ワークショップ等の開催 (3)とちぎ生涯現役シニア応援センター運営 ○移住希望者のニーズに応える情報発信と就労支援 ・職業人材の育成・確保の促進（委託料）7,522千円 (1)情報発信・相談対応・人材育成・就職支援を一貫して行うとちぎ職業人材カレッジによる支援	若者の県外流出と就職活動のオンライン化 子育て世代の移住意向の高まりと県内企業の働き方改革 移住における情報収集と仕事・就業の壁 若者等への移住定住支援 新しい働き方へ対応する企業の課題等の解決支援 移住希望者のニーズを捉えた効果的なPR UIJターン等若者世代・子育て世代の移住定住を促進し、本県の人口の減少を抑制   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①子育て世代における転入超過数（+530人） ②栃木県及び県内市町の移住相談窓口等において受け付けた相談件数（+4,722件） ③新規就農者占める女性の割合（+10.6%） ④とちぎU I ターン就職促進協定締結校における本県への年間就職者数（+195人）	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

事業概要【デジタルマーケティングを活用した「栃木ファン」拡大・強化による販路開拓プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	424,538千円（154,246千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・「栃木ファン」を強化・拡大するため、マーケティング手法や蓄積したデータから分析する体制を整えることにより、ブランド力の向上を図る ・デジタルマーケティングの手法を活用することにより、消費者のニーズに併せた情報提供や差別化した商品開発が可能となり、県産品のブランド力向上及び競争力強化、農産物の輸出を含めた販路開拓、販売額増加による所得の向上や雇用の創出・拡大を図る ・輸出に取り組む産地及び生産者の販路拡大に向けたオンラインセミナーや商談会、海外需要獲得のためのSNSを活用したPRやECサイトによる販売支援等を行い、輸出を含めた販路開拓、販売額増加による所得の向上や雇用の創出・拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	ネットの普及による消費者行動の変化 ニーズを探り商品の差別化を図る取組の必要性 人口減少に伴う国内市場の縮小により海外への販路開拓の必要性 「栃木ファン」拡大に向けた体制整備 データ分析等に基づく商品開発及びブランド力向上・競争力強化 海外販路開拓・強化 栃木ファン増による販売額増加 競争力強化による国内販売額増加 海外販路開拓による輸出額増加  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農産物の輸出額（+4.6億円） ②海外取引を行う県内企業数（+97社） ③栃木ファン会員数（+20,000人） ④ネット調査により「栃木県との関りがある」と回答した人の割合（+14%）	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

事業概要【経済と環境の好循環実現プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	331,128千円 (142,851千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・脱炭素化に伴う課題やビジネスチャンスについて普及啓発を行うことで、県民・事業者のマインドセットが図られる。 ・脱炭素化技術の開発や、新たな分野に挑戦する企業の支援を行い、県内企業の更なる成長を目指していく。 ・適応ビジネスを生かした農産物の高付加価値化を実現し、農業の成長産業化を推し進めていく。 ・経済と環境の好循環の実現により、新たな雇用を創出し、県内経済の成長や地域の持続的な発展を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○製造工程脱炭素化促進事業 ・企業の設備導入等の補助による製造工程の脱炭素化に資する改善モデルの創出と取組の横展開 (委託費等) 25,730千円 ○新産業連携創出補助金 ・新たな技術の創出に向けた、企業や研究機関による共同開発の促進と、調査から販路開拓までの一貫した支援 (補助金) 51,075千円 ○地域の防災拠点となる県民利用施設へのEV充電インフラ等の整備 ・再生可能エネルギーとEV充電器等を活用した、防災拠点の機能強化等を図るための計画策定 (委託費) 20,000千円 ○エシカル農産物マーケティング対策事業 ・環境に配慮して栽培された農産物の価値に対する消費者理解を促進し、購買へと繋げるための、試験販売を実施 (委託費) 7,821千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援事業を通じた脱炭素化・気候変動対策に資する技術・商品・サービスの開発件数 (+55件) ②脱炭素化や気候変動対策への機運醸成に関するセミナー等に参加した人数 (+550人) ③脱炭素化の取組による農産物の生産を行う農業者数 (+67人) ④温室効果ガス削減率 (+9.1%) 関連URL https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html		

事業概要【レジリエンスマネジメントによる県内産業強化事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	714,715千円 (133,023千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・企業から求められるデジタル技術に長けた女性・障害者・外国人など多種多様な人材を育成する。 ・サービス産業におけるデジタル化を推進し、業務管理の効率化や生産性を向上させるとともに、ものづくり産業におけるDXの推進による業務効率化や技術の高度化を図り、本県企業の更なる成長・発展を目指す。 ・企業の自己変革力を向上させ、持続的に本県産業の成長を支え、雇用を創出していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 ○デジタル人材の育成 ○多様な人材のデジタル技術習得支援  2 ○デジタル時代に対応したサービス産業の創出 ○デジタル技術を活用した業務効率化を推進  3 ○ものづくり産業におけるDX推進 ○新事業展開の導入支援 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サービス産業のうち情報通信業の売上高 (+152億円) ②創業支援事業計画による創業者数 (+125人) ③自動車・航空宇宙・医療福祉機器の製造品出荷額 (+8,504億円) ④AI・IoT等を導入する事業所の割合 (+21.1%)		
	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html	

事業概要【とちぎ農業未来創生事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	440,650千円 (177,974千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・企業等の農業参入により、職業として農業を選択する若者が増加し、農業者等が活躍している社会を実現する。 ・経営感覚に優れた農業者等が創意工夫を発揮し、収益性の高い農業を展開できる社会を実現する。 ・青年新規就農者の受入体制の整備及び受け皿となる産地や経営体を育成し、本県に就農・定着する農業者の増加を目指す。 ・稼げる農業が展開され、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」の実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○各種情報発信やオンライン相談窓口設置・就業体験等の取組 ・農業で働く意欲のある人材に向けた情報発信、オーダーメイド型相談サポート体制の強化 (委託費) 25,034千円 ○法人設立や集落営農組織の再編等による広域営農システムの構築 ・広域経営法人の規模拡大に係る投資負担軽減及び他地域への波及 (補助金) 10,000千円 ○大規模な土地利用型園芸産地 (園芸メガ産地) の育成 ・水田を生かした園芸メガ産地等の育成 (補助金) 66,892千円 ○生産モデルの確立や産地を牽引する経営者の育成 ・施設園芸経営者育成に向けた専門家の派遣等 (委託費) 6,884千円 ○農業気象災害への対応力の強化 ・農業気象災害の未然防止対策の推進や気候変動に対応した新品種・新技術の開発 (消耗品費、備品費等) 8,708千円 ○新規就農者の確保 人材の掘り起こし オンライン相談 農業法人等の 労働力確保 就農支援サイトTochino 地域の担い手 確保(新規参入) ○産地等の育成 【ソフト支援】 ・団地化や水利改善等の検討 ・低コスト栽培の実証 等 【ハード支援】 ・栽培管理機械 ・出荷調整機械・施設等 他県との競争に負けない 50ha規模の園芸メガ産地を育成 【園芸メガ産地のメリット】 ・ロットの拡大、安定供給 ・価格交渉力がある ・地域に新たな雇用を創出 ○農業気象災害への対応力強化と新品種・新技術開発 ▶ 本県に就農・定着する農業者が増加するとともに、稼げる農業が展開され、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」を実現		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①青年新規就農者数 (+960人) ②合併や連携する集落営農組織、農業に参入する企業及び自治体等が出資した広域農業法人等数 (+20組織) ③販売農家1戸当たりの農業産出額 (+148万円) ④販売額1億円以上の先進的園芸経営体数 (+6経営体)	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

事業概要【M I C Eを核とした地域の”稼ぐ力”向上プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	235,940千円 (43,402千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・「M I C E」を核とした、地域への経済波及効果や雇用の創出を図る ・経済の活性化に向けた、地域の「稼ぐ力」の向上を図る ・オール宇都宮による「M I C E」推進のための基盤強化を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○M I C Eの推進 ・M I C E開催獲得のための主催者等に対する訪問営業活動の実施 4,506千円 ・開催地決定に影響力のある主催者・キーパーソンの招聘によるファムツアーの催行 3,400千円 ・M I C E開催地としての魅力創出を図るための地域資源の発掘・磨き上げ 3,000千円 ○官民連携による観光資源の磨き上げ 8,000千円 ・本市の観光資源を結ぶイベントの開催 ○インバウンドの推進 3,000千円 ・体験型コンテンツの発信、販売事業の実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①MICE開催件数 (+116件) ②MICE消費額 (+15.5億円) ③参加者1人当たりの消費額 (宿泊) (+3,316円)	関連URL	調整中

事業概要【SDGs達成に貢献する公共交通利用促進プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	314,917千円 (73,080千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・誰もが安全で快適に移動できる環境の整備を図る ・公共交通等への転換を図るためのモビリティ・マネジメントの推進を図る ・SDGs達成への意識の基盤づくりを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○端末交通手段の管理・運営 34,500千円 ・シェアリングモビリティの社会実装のために必要な車両維持管理や、予約システムの運営管理など ○モビリティマネジメントの実施 28,030千円 ・「モビリティ・マネジメント」の対象範囲を拡大し、公共交通利用促進に資するリーフレットの配布など ○SDGsの周知啓発に向けた掲出 1,800千円 ・人の往来がある観光拠点などの市有施設等にSDGsロゴを掲出 ○市内イベントと連携したPR活動 5,000千円 ・イベントと連携した公共交通の利用促進やSDGsに関するPR活動の実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGs認知度 (+26%) ②公共交通年間利用者数 (+1,731万人) ③交通系ICカード「t o t r a」の年間発行枚数 (+12.3万枚)	関連URL	調整中

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,000千円 (14,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・地域資源を生かした着地型観光事業を通じて「足利ファン」の獲得を図る ・新たな教育旅行先としてのブランド確立を図る ・足利氏を意識した市民のまちづくりへの参画		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○周遊モデルコースの設定やモニターツアーの実施 ・ファムトリップ企画（委託料） 2,164千円 ○観光パンフレットの作成や連動した観光サインの設置 ・観光パンフレットの作成 1,336千円 ・標識柱作成費 400千円 ○歴代足利氏の甲冑の再現による着付け体験の提供 ・甲冑、付帯道具一式作成費 550千円 ○年間を通じた足利氏及び本市の魅力の発信 ・広報委託費 9,000千円 ○教育関連旅行の誘致 ・パンフレット作成、旅行ブース出展ほか 500千円 ○市民のボランティア意識の向上 ・歴史講座事業 50千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数（+262万人） ②校外学習・教育旅行者数（+825人） ③足利市観光ボランティアガイド協会会員数（+9人） ④足利氏関連新商品年間販売額（+80万円）	関連URL	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/goverment/000085/000472/p005168.html

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	55,185千円 (11,437千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・高校生をメインターゲットとし、市内への定住やUターンを促すと同時に、地域を担う人材を育成する ・移住施策の継続・深化により転入者の増加を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高校生のキャリア教育 ・次世代育成・PRコーディネート (委託料) 6,500千円 ・活動拠点経費 (賃借料) 1,980千円 ・活動拠点経費 (通信費・光熱水費) 574千円 ○体験プログラム等による移住者交流会の開催 (委託料) 1,300千円 ○相談体制の強化等による移住促進 ・活動拠点経費 (通信費・光熱水費) 214千円 ・移住定住促進諸経費 869千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高校生クラブ員数 (+18人) ②高校生クラブによる実践件数 (+9件) ③移住者交流会参加者数 (+21人) ④相談事業を経た移住者数 (+55人)	関連URL	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html

事業概要【日光市新しい働き方推進によるひと・しごと誘致戦略プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県日光市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	97,578千円 (28,617千円)
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・市の多様な地域資源を活かしたワーケーションを推進し、ひとの流れを生み出し、東京圏企業のコワーキングスペースの活用とサテライトオフィス誘致を行う。 ・ワーケーションを契機に日光に訪れる東京圏の企業・人材等と、市内企業とのビジネスマッチングにより、販路開拓・拡大や、AI、IOT支援等による地域産業の高度化と生産性向上を図る。これらの取組により、多様な産業構造を生み出し若年層の流出抑制を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ビジネスマッチング事業 来訪したワーカー又は企業と地域の事業者との新たなビジネス創出に向けた交流会・マッチングイベント等費用(委託料) 4,475千円 ○ワーケーション実施事業 企業・ワーカーの要望に合わせたオーダーメイド型プラン、地域課題解決型プラン造成等(委託料)2,200千円 ○プロモーション事業費 地域の観光事業者、ワークスペース運営事業者、交通事業者等が一体となった、誘客に向けた情報発信等(委託料) 7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 転出超過の改善(+88人) ② ワーケーション等により2回以上当市を訪問した企業数(+38件) ③ 東京圏企業による市内企業へのIOT支援等件数(+12件) ④ サテライトオフィス誘致件数(+16件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.nikko.lg.jp/seisaku/smartwl.html (効果検証) https://www.city.nikko.lg.jp/seisaku/kennsyoukextuka.html



事業概要【井頭周辺エリアを核とした真岡市の魅力発信プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県真岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	168,686千円 (12,883千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	「いがしらリゾート」を核に、真岡市の魅力を発信する事業を行う。観光客に本市の魅力を感じてもらうため、施設間の連携を強化し、エリア一体としての受け入れ態勢を強化することで、周遊性向上による滞在時間の延長、観光消費額の増加を図るとともに、日帰り旅行から宿泊旅行へと促すグランピング施設等を整備する。加えて、首都圏等に向けたデジタルマーケティングを活用した情報発信を行うことで、農村部へ新たな人の流れを創出する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○体験園場整備による通年誘客機能の拡充 ・農地使用料 864千円 ・農地管理委託料 5,219千円 ○エリアが一体となった魅力創出及び連携を促進するための共同イベントを開催し、新たな人の流れを創出する ・いがしらリゾート共同イベント実施費（委託料） 6,000千円 ○「いがしらリゾート」とグリーンツーリズムを連携することで、本市の農業の魅力を発信 ・グリーンツーリズム推進協議会（補助金） 800千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光拠点施設（井頭温泉、井頭温泉チャットパレス、真岡市農産物販売交流施設いがしら、観光いちご園）の売上高（+3.23億円） ②いがしらリゾート（井頭公園、一万円プール、井頭温泉、井頭温泉チャットパレス、真岡市農産物販売交流施設いがしら、観光いちご園）への観光入込客数（+47.17万人） ③真岡市への宿泊者数（+11,354人） ④県東地域滞在時間数（+0.4時間）		
	関連URL	https://www.city.moka.lg.jp/kaku-ka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_k-eikaku/4/1691.html	

事業概要【益子町地区別戦略策定支援事業】

推進当初

申請者	栃木県益子町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,500千円 (11,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	少子化、社会減の影響により、これまでの地域や集落の維持が困難となりつつあることから、より広範な新たな地区を設定し、その地区ごとに現状をきめ細やかに把握・分析する。またそれを踏まえ、地域住民が末長く、安心して幸せに暮らしていけるよう、地区の特性に応じた多分野にわたる具体的な取組を定めた、地区ごとの戦略づくりとその推進について、地域住民が主体となり実施できるよう支援を行うことで、持続可能な地域づくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○区域ごとの人口動態の現状分析と将来推計の実施 ○地域住民と共に地域の強み・弱みを把握し、強みを生かした持続可能な地域づくりに向けた取組を考えるワークショップ等の開催 ・支援業務委託費（委託料）7,000千円 ・勉強会等講師謝金（報償費）765千円 ・講師招へい旅費（旅費）143千円 ・文房具類購入費（消耗品費）90千円 ・講師用飲料代（食料品費）2千円 ○戦略に基づく取組に対する補助金の交付 ・戦略推進事業費補助金（補助金）3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会動態（20～30歳代）（▲247人） ②地区別戦略策定数（+10件） ③20～30歳代の移住者数（+90組） ④自治会加入世帯の割合（+1.0%）	関連URL	https://www.town.mashiko.lg.jp/page/page001955.html

事業概要【デジタル社会における女性・若者に魅力ある新たな雇用・産業の創出事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	397,652千円（171,647千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・デジタル技術等を活用することにより、様々な出産・子育て支援等とも連携しながら、女性の県外転出に歯止めをかけると共に、本県内で働き続けることができるよう、女性が希望する雇用・仕事・産業を地方発で創出していく。 ・魅力的な就業環境を整備して、本県からの転出抑制を図り、将来的な県内労働人口の増加につなげていく。		
事業概要・ 主な経費	○ダイバーシティ経営の推進 ・企業による女性の個性や能力を最大限発揮できる機会の提供に向けたセミナー等の実施（委託費）3,284千円 ○女性等から選ばれるものづくり産業の振興 ・企業の人材育成や競争力向上に向けた支援（委託費等）63,452千円 ○女性デジタル人材の育成 ・デジタルスキルの習得に向けた、リアルとオンラインでの支援（委託費）16,299千円 ○スタートアップ企業等の交流機会の創出 ・県内外におけるスタートアップ企業等の交流イベントの開催による、スタートアップ企業のイノベーションの促進及びマッチング機会の提供（委託費等）4,799千円		
※経費内訳はR6年度事業費	1 女性等に魅力ある 新たな雇用・産業の創出 ○女性に魅力ある新たな雇用・産業の創出等に向けた事業戦略の策定と戦略に基づく施策の展開 ◆ 外部環境調査を実施し、多様なニーズを持つ女性の雇用・働き方等を把握、分析 ◆ 外部環境調査等を踏まえて策定した戦略に基づき、以下の施策を行う。 ・情報通信産業等の立地の促進 ・ものづくり産業における女性活躍の推進 ・ワークシェアリングによる就業機会の提供 ・企業の人事労務担当者や女性社員を対象とした意見交換会 等  2 若者・女性の人材育成 ○女性デジタル人材の育成 ・女性がデジタルスキルを身につけ、柔軟な働き方ができるよう支援する ○人材育成機関の強化 ・人材育成機関が実施する特別授業等への助成などを実施する 3 若者・女性の雇用創出に向けたスタートアップ企業支援 ○スタートアップ企業交流イベント ・国内外スタートアップ企業によるプレゼンテーション（ピッチ） ・スタートアップ企業及び支援者等によるパネルディスカッション ・スタートアップ企業PRブースや展示パネル等の設置 		
KPI	①県内人材育成機関（事業対象機関）における県内就職率（+3.3%） ②デジタルスキルを学習し副業・兼業、フリーランス、就業等により新たな業務を行った女性の数（+270人） ③スタートアップ支援事業による支援起業家数（+65人）	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【デジタル技術を活用した農業の流通改革・新価値創出力強化事業】

推進当初

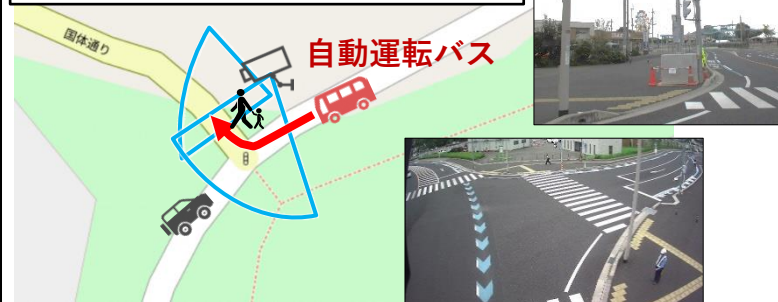
申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	197,341千円 (80,095千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・生産管理や物流合理化に向けたデジタル技術の活用方策の検討等により、流通の合理化等を図る ・ニーズの変化を捉えた付加価値の高い米づくりの推進等により、多様なニーズに合った農産物の供給強化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○実需者ニーズに即した生産管理や物流合理化に向けたデジタル技術の活用方策の検討、支援等 ・データ活用による生産・流通・販売の体制づくりへの支援 (補助金) 2,767千円 ○競争力の高い米産地づくりの取組 ・米の超低コスト生産モデル育成に向けた省力・効率化への取組やスマート農機の導入への支援 (補助金) 14,038千円 ○将来の家庭用米ニーズを捉えた高付加価値米による需要増加の推進 ・環境負荷低減の見える化及び技術開発経費 4,530千円 ○「とちぎの星」高品質化に取り組む産地の拡大と消費形態の変化に対応した販売力向上に向けた取組への支援 ・「とちぎの星」の認知度向上等への取組支援 (補助金) 11,000千円 ○持続的な農業生産の確立に資する他機関と連携した研究開発の推進 ・試験研究に必要な備品の購入等 (需用費、備品購入費等) 11,982千円 ○地域の生産体系に応じたスマート農機の改良・実証等 ・スマート農機改良及び導入支援 (補助金) 14,300千円 栃木県農業の成長産業化 ○情勢変化に対応した農業の体質強化 ○ニーズに合った農産物の生産増加による競争力の強化 農業生産管理・ 流通合理化  生産から流通までデータ共有 新価値を有する 農産物生産推進・支援 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①先端技術導入経営体数 (+ 576経営体) ②新たに開発した品種・技術数 (+ 32個) ③販売農家1戸当たりの農業産出額 (+ 110.5万円) ④生産から流通まで一貫したデータ活用に取り組む団体数 (+ 6団体) 関連URL https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html		

事業概要【新無人自動運転移動サービス導入促進事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	124,700千円 (24,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・公共交通機関に無人自動運転技術を導入することで、運転手不足の中でも効率的な路線の確保・充実を促進するとともに、中山間地域における地域住民の移動の活性化や観光地の周遊性を高めることによる魅力度の向上を図る ・人口減少や高齢化が進む社会においても、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークの形成を図り、まちのにぎわいの創出と地域の活性化の実現を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○交通事業者が実施する実証実験の実施箇所や事業計画について、協議会において必要な検討と助言を実施 ・協議会運営費 1,800千円 ○交通事業者が実施する実証実験に対する、無人自動運転バスの安全性の向上を図るためのインフラ側からの走行支援 ・路車協調システム設置 (委託料) 20,000千円 ○無人自動運転移動サービスの導入に向けた検討や取組を始めようとする交通事業者の初期の取組を支援するためのアドバイザーの派遣 ・アドバイザー派遣 (委託料) 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①鉄道・バス等の利用者数 (+45,000人) ②自動運転バス運行開始路線数 (+2本) ③既存バス路線での有償による実証実験の総走行人・km (+9,000人・km)	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

自動運転バスに搭載したセンサの死角となる一般車両、歩行者・自転車の情報を交差点に設置したセンサで検出・通信連携させることで安全で円滑な走行を実現



インフラ側からの走行支援例

事業概要【とちぎスポーツの活用による地域活性化推進事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	167,672千円 (49,175千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・スポーツコミッションを核とする大規模大会、スポーツイベント等の誘致などによるスポーツを活用した地域活性化 ・スポーツと他産業との連携機会創出、大会誘致等のノウハウ蓄積、人材育成による自走化に向けた環境整備 ・テーマ別ツーリズムの推進によるサイクルツーリズムなどスポーツと他産業を組合わせた商品造成等の機会創出 ・eスポーツ活用の機運醸成、裾野拡大によるデジタル社会の形成・定着促進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○栃木県スポーツコミッションの運営 ・事務局を担う団体に対する経費の助成（補助金）5,591千円 ・Webサイト保守管理、商談会出席（委託料等）1,500千円 ○大規模大会やスポーツイベント等の誘致 ・大会等の開催経費に対する助成（補助金）18,600千円 ○テーマ別スポーツツーリズム推進に向けたモデル事業実施 ・デジタルサイクルマップ等を取り入れたサイクルイベント開催（当日運営、アンケート等データ収集・分析等）（負担金）6,982千円 ・サイクリングコース活用、サイクリスト向け情報の一元化推進（コース体験、イベント出展等によるPR等）（委託料等）3,002千円 ○新たなテーマ別スポーツツーリズムの推進に向けたモデル事業実施 ・武道体験モニターツアー開催 ※スポーツ庁事業活用予定 ○eスポーツを活用した地域活性化の推進 ・イベント、セミナー、体験会開催（負担金）13,500千円  栃木県 TOCHIGI PREFECTURE SPORTS COMMISSION スポーツコミッション     ユウケイ武道館  TOCHIGI E-SPORTS FESTA とちぎ Eスポーツフェスタ Sustainable e-sports future		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①新たなテーマ別スポーツツーリズムの推進に向けた体験会等モデル事業の参加人数（+300人） ②大規模大会や国際大会が本県で開催される回数（+3回）	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html https://tochigi-pref-sports-commission.com/ https://gurutochi-cycling.com/

事業概要【オープンイノベーションの促進による地域経済循環創出プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	116,508千円 (38,859千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・地域一体となって本市産業の原動力となる成長性の高いスタートアップの発掘・定着を図る ・地域外から有望なスタートアップ企業の誘致に取り組み、スタートアップ企業の集積を図る ・地域内外の企業間ネットワークを構築しながら中核企業等の事業連携や協業の活発化を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○オープンイノベーションプログラム(委託費)11,756千円 ・市内中核企業と市内外スタートアップとの協業による新規事業等の事業化に向けた伴走型の支援プログラム ○スタートアップに対する成長加速化事業 (委託費) 11,628千円 ・有望な市内外スタートアップ企業を選抜し、事業成長の加速化に向けた専門家によるアドバイス、実証実験、ビジネスマッチングのサポート等を行う伴走型の支援プログラム ○ビジネスコーディネーター業務 (委託費) 8,427千円 ・東京圏を中心とした域外企業との交流イベントを開催 ・販路開拓などビジネスマッチング支援 ・市内中核企業を中心とした地域内外の企業間ネットワーク形成のコーディネート 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①オープンイノベーション等推進事業の参加企業における雇用増加数 (+30人) ②新規事業プロジェクトの組成 (+6件) ③スタートアップ成長加速化採択 (+24件) ④企業間交流イベントの参加 (+750人)	関連URL	調整中

申請者	栃木県鹿沼市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,560千円（7,280千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・成長意欲の高い市内企業に対して、伴走型支援を実施し、課題設定及び課題解決の自走化を図る。 ・市内企業が自己変革力を身に付け、競争力のある企業へと成長することで域内への経済波及効果を図る。 ・市内企業のデジタル化を促進し、省人化や省力化を図ることで、人材不足の課題解決に寄与する。 ・市内企業のネットワークを構築し、地域経済を牽引する企業グループを生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	鹿沼市企業支援センター運営協議会 （鹿沼市、鹿沼商工会議所、栗野商工会、鹿沼相互信用金庫） 関係支援機関等と連携 ・コーディネーターによるヒアリング、課題設定・課題解決支援 ・専門家によるデジタル診断及びデジタル技術導入支援 大学と連携 構築の支援 （セミナー・グループワーク等開催） 市内企業（個社） 市内企業ネットワーク		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援企業数（+64社） ②支援企業の平均付加価値増加率（+9.0%） ③ネットワークへの参加企業数（+30社） ④支援企業の新規雇用数（+36人）	関連URL	https://www.city.kanuma.tochigi.jp/0367/info-0000001036-1.html

事業概要【日光市女性が輝く推進プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県日光市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,789千円 (20,917千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	・子育て中の女性や若年層の就労が可能となるよう、デジタルワーカーを育成する事業を行い、女性が働きやすい・環境を整備する。様々な事業を行い、多様なライフスタイルが実現できることで、子育て中の女性や若年層が働きやすい・住みやすい日光市を構築し、少子化の改善を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○女性デジタルワーク産業育成事業 ウェブデザイン系、デジタル業務のスキル習得事業 (委託料) 13,577千円 ○女性が活躍する職場環境づくり及び男女が家事と育児をシェアする「とも家事」「とも育児」事業 家事の鉄人養成事業 (委託料) 等2,720千円 ○若者への多様な働き方機運醸成事業 高校生へのデジタルワーク等の多様な働き方事業 (委託料) 595千円 ○若者への男女共同参画意識啓発事業(委託料) 1,353千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 女性デジタルワーク産業育成事業の受講者のうち、起業家数 (+2人) ② 男女共同参画推進事業者表彰数(+15件) ③ 若者への多様な働き方機運醸成事業参加者数 (+34人) ④ 輝く女性日光推進事業に参加する企業等の数(+24件)		
	関連URL	(効果検証) https://www.city.nikko.lg.jp/seisaku/kennsyoukextuka.html (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.nikko.lg.jp/torikumi/danjokyodosankaku/index.html	



事業概要【移住・定住・シビックプライド醸成に向けた若者による真岡ファン創出プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県真岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,062千円 (6,828千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	高校生が主体として活動する高校生クラブなどの若者目線での本市の魅力の発信を行っていく。若者の市内定住や将来的なUターン、関係人口を創出するために、高校生の地域活動の輪を広げていくとともに、市民にもまちの魅力を発信することで、郷土愛を醸成し、他者勧奨意欲を高めることで、若者の定住やUターンを促進を促進し、若者の市民活動が活発な本市の魅力を東京圏に発信することで、将来的な移住を視野に関係の深度化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高校生による真岡市の魅力発信事業 ・高校生クラブ活動事業費（コーディネーター料、消耗品費等）260千円 ○高校生クラブ活動による中高生の定住機運の増進 ・中学生、高校生向け定住促進事業費（委託料）494千円 ○真岡市の魅力を市内外に発信するイベントの開催 ・特産品PRイベント事業費（委託料、消耗品費等）100千円 ○本市への移住を想起させるとともに、市民の郷土愛の醸成を図る ・移住・定住・シビックプライド醸成冊子作成（委託料）694千円 ○情報発信に向けた広報DXの推進 ・HP分析ツール使用料 1,320千円 ・HP運用支援業務委託費 2,640千円 ・デジタル広告費（委託料）1,320千円	高校生クラブ（真岡すきすきシェアクラブ） ※写真はR5年度のメンバー  若者による魅力発信 市内 ・郷土愛の醸成 ・若者の定住や将来的なUターン意欲の醸成 ・地域づくり活動の輪を拡大  市外・東京圏 ・認知度の向上 ・外からの目線で真岡の魅力を創出 ・将来的な移住者確保に向けた関係構築	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①真岡すきすきシェアクラブ インスタグラムフォロワー数（+1,534人） ②まちづくり活動に参加している市民の割合（+1.4%） ③デジタル広告閲覧数（+12,822回） ④移住相談件数（+40件）	関連URL	https://www.city.moka.lg.jp/kaku-ka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_k-eikaku/4/1691.html

事業概要【「若者が活躍する街しもつけ」Uターン促進事業】

推進当初

申請者	栃木県下野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	12,421千円 (4,435千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・若者が活躍する機会をつくることで地域への愛着や郷土愛醸成を図る ・地域課題を「見える化」し、地域と若者をつなげることで担い手不足解消を図る ・東京圏在住の本市出身者をターゲットに本市との関わりをつくることでUターン促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○Uターン促進事業 ・インターンシップ（委託料） 874千円 ・東京圏在住者の地域課題解決プロジェクト（委託料） 827千円 ・移住フェア出展料（負担金） 253千円 ・Uターン促進のPR動画作成（委託料） 500千円 ○若者郷土愛醸成事業 ・地域課題解決プロジェクト及び開発・発掘した商品のPR（SNS及びパンフレット）（委託料） 1,381千円 ○若者と地域を繋ぐ若者の地域活動支援 ・若者地域活動支援事務局運営費（委託料） 300千円 ・若者地域活動PR業務（委託料） 300千円 プログラムの流れ インターンシッププログラムの流れ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①東京圏からの転入者数（+30人） ②UターンPRのための移住フェア参加者数（+30人） ③地域課題への取組件数（+6件） ④大学生インターンシップの参加者数（+6件）	関連URL	https://www.city.shimotsuke.lg.jp/2008/genre3-3-001.html

申請者	栃木県壬生町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,362千円（8,393千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	道の駅みぶの活性化を図るため、令和7年度のリニューアルオープンに向けて、壬生町の地域資源でも代表的な「いちご」や「おもちゃ」をコンセプトとした商品の磨き上げや、商品を販売するための戦略構築、運営主体の業績向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○壬生町の魅力をより具体的に整理し、顧客を惹きつける地域資源を活かしたリニューアルオープン後の目玉商品（いちご・おもちゃ関連）を地域一丸となって作りあげる。 魅力の商品化への支援業務（委託）4,235千円 ○施設利用者の滞在時間を表すデータを取得することで、効果的に「道の駅みぶ」の魅力につなげることができているのか把握する。 人流データ取得・分析業務（委託）946千円 ○地域が望む施設の経営方針を盛り込んだ施設経営マニュアル等を作成し、施設経営の安定化を図る。 施設経営マニュアル等作成支援業務（委託）3,212千円  ヒト・モノ・コトを 「ALLみぶ」で つないでいく		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①みぶハイウエーパーク施設利用者数（+930,902人） ②みぶハイウエーパーク売上高（+460,824千円） ③みぶハイウエーパーククリピーター率（+3.45%） ④いちごの生産面積（+13ha）	関連URL	調整中

申請者	栃木県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	292,291千円 (80,451千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・「旅行需要の平準化」に焦点を当て、夏休みや紅葉シーズン等の繁忙期や土日祝日を避けた旅行を促進し、新たな旅行需要の喚起とオン・オフシーズン間の格差是正を通じて、県内観光関連産業の生産性の向上と雇用の安定を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○旅行需要の平準化に向けた「平日にもう1泊」キャンペーンの実施 ・県内同一宿泊施設に平日を含み2連泊以上する55歳未満の旅行者に、地域限定電子クーポンを発行 (委託料) 11,042千円※クーポンは交付金対象外 ○デジタルを活用した誘客プロモーション等の強化 ・観光地におけるWEBマップ活用状況の分析等 (委託料) 9,062千円 ・県公式観光HP「とちぎ旅ネット」特集ページ作成等 (委託料) 17,872千円 ・配信サービス放送番組内での広告配信等 16,166千円 ○観光需要の掘り起こし ・とちぎDMO「とちぎ観光地づくり委員会」の開催事業 3,857千円 ・ワーケーションの定着に向けたプログラム造成支援等 (委託料) 3,200千円 ・スポーツ大会等に伴う来県者のエキスカーション助成等 (補助金等) 5,280千円 課題 ・旅行需要の偏在 ・宿泊日数、滞在時間の伸び悩み ・観光事業者のデジタルリテラシー対応の遅れ ↓ 事業内容 ・旅行需要の平準化 ・デジタルを活用したプロモーション ・観光需要の掘り起こし ↓ 効果 ・観光客宿泊数、観光客入込数の増加 ・地域における観光消費額拡大 ・観光産業の生産性向上及び雇用の安定化 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+470億円) ②観光客宿泊数 (+139万人) ③観光客入込数 (+2,290万人) ④観光客宿泊数のうち1泊の割合 (▲0.3%)	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

事業概要【新ビジネス創出による農業・農村収益力向上事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	519,667千円 (149,173千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・農産物の収穫・加工、農家や古民家での宿泊体験、地域の文化・伝統等と組み合わせたストーリー性のあるツーリズムを創出するなど本県特有の地域資源等を活用し、誘客促進につなげることで、訪日観光客の来訪者数増加及び海外での県産農産物の需要拡大を図り、本県農業・農村の収益力を強化する。 ・県産農産物の輸出に取り組む産地や事業者等の実情に合わせた支援を行うとともに、独自技術による新たな価値を持つ農産物加工品を開発し、新たに輸出に取り組む事業者を増やすことで、海外販路開拓・拡大を図り、本県農産物の国際競争力を高める。		
事業概要・ 主な経費	○とちぎの農村等の魅力海外発信事業 ・とちぎの農村の魅力発信による誘客促進 (委託料等) 9,840千円 ・現地インフルエンサーを活用した情報発信 (委託料等) 1,990千円 ○いちご等の本県特産品を活用したプロモーション事業 ・本県の強みである「いちご」等の農産物の情報発信 (委託料等) 20,382千円 ○インバウンド需要に対応した農村地域の稼ぐ力強化事業 ・農村プロデューサーによる新たなビジネスの創出支援 (委託料) 7,400千円 ○農産物輸出体制強化事業 ・アドバイザーの設置等による輸出拡大への総合的強化 (委託料等) 12,961千円 ○農産物産地づくり事業 ・新たな産地づくりに必要な大型機械の導入等の支援 (補助金) 34,922千円 ○新たな需要に応じた農産物加工商品開発事業 ・農産物加工品の製造支援 (補助金) 30,093千円		
※経費内訳はR6年度事業費	【展開イメージ】 訪日観光の促進と県産農産物の需要拡大の「好循環」による農業・農村の収益力向上を実現		
KPI	①地域における農林水産出荷額 (+103.5万円) ②農村地域に宿泊する訪日外国人観光消費額 (+7.4千万円) ③とちぎの農村ならではのグローバルビジネス創出数 (+4件) ④輸出に取り組む生産者数 (+12者)		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html		

事業概要【官民協働による「共創のまちづくり」推進プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	160,000千円 (44,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内外の多様な人材とのマッチングや共創の種を生む拠点となる「交流の場」を創出 ・自治体間競争に勝ち抜き、共創・協業のパートナーとして選ばれるまちを目指す。 ・共創・協業による地域課題の解決につながるプロジェクトを生み出す。 ・人口減少社会においても持続的なまちの成長や発展を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○都市拠点における「交流の場」（コミュニティスペース）のモデル設置・運営（委託費） 30,000千円 ・都市拠点における施設利用に係る経費 ・「交流の場」におけるコーディネーター人件費 ○「（仮称）公民連携プラットフォーム」の設立・運営（委託費） 5,000千円 ・学識経験者を含めた共創のワンストップ窓口となる組織の創設 ・共創事業の具体化や地域課題の解決に向けたマッチングの支援 ・オンライン上でのマッチングの場となるホームページの作成・運用		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+40人） ②具現化・社会実装された共創プロジェクト数（+4件） ③「（仮称）公民連携プラットフォーム」で受け付けた民間企業等からの提案数（+10件）	関連URL	調整中

事業概要【世界で輝く「スポーツのまち うつのみや」の実現】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	175,260千円 (20,260千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・本市の新たなスポーツ資源である「スケートボード」と「BMX」のイメージ定着を図る。 ・「スケートボード」や「BMX」を核とした、スポーツに係る観光消費額の拡大を図る。 ・アーバンスポーツの愛好者や競技者人口の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東部総合公園開園準備 (委託費) 9,480千円 ・開園時における利用促進を図るため、本公園に整備予定のスケートパークの整備イメージパースなどの資料作成 ・スケートボードやBMXなどの国内外の大会誘致・開催に向けたPR活動等 ○アーバンスポーツフェスティバル (委託費) 10,000千円 ・国内トップ選手らによるデモンストレーションやワークショップを実施 ○国際・国内競技大会の誘致準備 780千円 ・スケートボードやBMXに係る国際・国内大会の誘致・開催に向けて、国際・国内競技団体との関係構築を図る。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+7.5億円) ②スケートボードとBMXのイベントの来場者数 (+4.2万人) ③スケートボードとBMXのイベントのまた来たいと思う人の割合 (+255%)	関連URL	調整中

事業概要【「いちご王国栃木の首都もおか」交流促進・地域経済活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県真岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,000千円 (61,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	着実な農業振興により培われた本市最大の特色である生産量「日本一のいちご」を観光や商業の振興にも活用することで、新たな人の流れを創出し、地域の活性化を図ります。そのために、「いちご」をテーマとした観光イベントの開催、高付加価値商品の開発の補助などを行うとともに、行政及び民間事業者の観光DX化を図ることで交流人口の増加に加え、地域経済の活性化につなげていきます。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	日本一のいちごを武器に観光・商業の振興 いちご王国栃木の首都 もおか 真岡市 「いちご」をテーマとした観光イベント 市内の機運醸成 ・高付加価値商品の開発 ・市内周遊を促進する「デジタルスタンプラリー」 ・東京圏での認知度向上イベントの開催 観光DXで効果促進 ・「Googleビジネスプロフィール」の推進 ・位置情報データの活用 ・インバウンド獲得に向けたバーチャルツアーの実施 「いちご」をキーワードに観光を振興！ 地域経済の活性化 ・ 新たなひとの流れを創出		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+168.61百万円) ②観光入込客数 (+29.71万人) ③観光情報 (市HP) 閲覧回数 (+250回) ④外国人宿泊者数 (+147人)	関連URL	https://www.city.moka.lg.jp/kaku-ka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_k-eikaku/4/1691.html

事業概要【「陶器市のまちから通年観光のまちへ」観光地域づくり事業】

推進当初

申請者	栃木県益子町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,000千円 (6,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	新型コロナウイルスの影響などに起因する観光客入込数の落ち込み等により、冷え込んだ町内経済を活性化させるべく、DMOましこラボが旗振り役となり、陶器市以外の平常時にも観光客を町に呼び込むため、アフターコロナの時代に適応した綿密な観光振興施策を打ち出し、観光資源の高付加価値化や観光客の回遊性向上等を図り、観光消費額の増加に繋げることで「地域の稼ぐ力」を引き出し、持続可能な観光地づくりに取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○Instagram等を活用したアンケートの実施やマーケティングリサーチやその分析 (交付金 (委託料・消耗品費等に充当) : 1,000千円) ○電子マップや多言語Webマップの作成 (交付金 (委託料・印刷製本費等に充当) : 3,000千円) ○SNS媒体や公共交通機関を活用した広告・プロモーション (交付金 (委託料・消耗品費・印刷製本費等に充当) : 2,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+554万円) ②観光客満足度 (+4.3%) ③陶器市を除いた平常時の観光客数 (+18万人) ④外国人観光客宿泊数 (+240人)		関連URL https://www.town.mashiko.lg.jp/page/page001955.html

申請者	栃木県那須町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,040千円 (6,680千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・「訪問・滞在増加」や「地域住民との交流」促進をとおして、二地域居住者等の地域との関係性を深める ・就業やイベントの運営参加のきっかけをつくり、地域の担い手不足解消を図る ・地域住民との交流や地域体験・就労体験等により、二地域居住者・関係人口の増加を図る ・テレワーカーの育成により、場所や生活にとらわれない働き方を推進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①「那須町ふるさとアプリ」の運用・開発改修 (委託費：4,000千円) ・交流・関係性深化のための「地域活動・イベント情報発信」 ・訪問・滞在増加、地域住民との交流促進のための「ポイント制度」 ・滞在利便性向上のための「町民サービス提供」等 ②地域交流促進プログラム (企画費・講師謝費礼等：480千円) ・就労体験（農業・酪農・テレワーク等） ・町民との交流・町内周遊 ・ワークショップ ③テレワーカー育成プログラム (委託費：2,200千円) ・二地域居住に興味がある非テレワーカーの人たちに向けて、テレワーク就業の理解促進セミナー・スキルアップ講座を実施	 ①地域活動への参加  ②地域交流・就農体験  ③テレワーカー育成	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (+130人) ②地域活動等の情報発信回数 (+90回) ③地域交流促進プログラム参加人数 (+30人) ④テレワーカー育成プログラム参加人数 (+90人)	関連URL	https://www.town.nasu.lg.jp/office0301/section-1.html

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【くつろぎの空間創出による滞在時間向上・周遊拠点整備プロジェクト】

拠点補正

申請者	栃木県真岡市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	381,020千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市で一番の観光入込客数を誇る「いがしらリゾート」の拠点である「真岡井頭温泉」及び「井頭温泉チャットパレス」を、観光ターゲットであるファミリー層に望まれる施設になるようリニューアルを行い、東京圏からの新たな人の流れを創出するとともに、観光情報発信のハブ拠点として活用することで市全域に観光客を周遊させる。		
整備内容・利活用方策	【真岡井頭温泉】282,358千円 子ども連れファミリー層が楽しめ、かつ、東京圏からの誘客促進等を図れる施設へと魅力向上を図る。 ・アナログとデジタルが融合したファミリーキッズゾーンの整備 ・くつろぎの空間による癒しと食を堪能できる環境の整備 ・キャッシュレスやテレワークなどデジタルによる滞在環境の整備 など 【井頭温泉チャットパレス】98,662千円 宿泊による滞在時間の延伸を促すとともに、市内周遊を促進するハブ拠点化に向け、魅力向上を図る。 ・癒しや食などのいがしらリゾートの魅力を伝えるための環境整備 ・本市の地域資源の魅力を伝える客室の整備 ・市内周遊を促すハブ拠点に向けたデジタルサイネージの整備 など 真岡井頭温泉  他施設と差別化を図る「ファミリーキッズゾーン」の整備  Wi-Fi整備によるワーケーションなどへの対応  利便性向上に向けた施設の改修 井頭温泉チャットパレス  何度も利用したい宿泊施設としての魅力向上  市内集を促すハブ拠点化  ファミリーも利用しやすいレストランの整備 くつろぎの空間創出により 観光入込客の増加、地域経済の活性化を図る		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+205,673千円） ②真岡井頭温泉及び井頭温泉チャットパレス利用者数（+34,158人） ③真岡井頭温泉の市外利用者の人数（+58,070人） ④井頭温泉チャットパレス（本館）稼働率（+14.1%）	関連URL	https://www.city.moka.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/4/17947.html

申請者	栃木県壬生町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	619,590千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	「道の駅みぶ」施設内に、継続的な魅力商品の開発のための「加工所」や地域の柱となる第三セクターの「事務所」、事業者を育てる「チャレンジショップ」等の整備を図り、非常に魅力的な独自の地域資源を効果的に発信し、壬生「らしく」、自分「らしく」…、「らしく」を合言葉とした道の駅を目指す。		
整備内容・利活用方策	道の駅において、厨房や菓子工房、農産物加工室を含む加工所や第三セクターが経営を行う上で必要となる事務所、チャレンジショップ等を整備する。加工所では付加価値を創出することで魅力の発信を、事務所機能ではコミュニケーションをコンセプトとすることで生産者や事業者等との結びつきを、チャレンジショップでは新規事業者の創業支援を、それぞれに向上させることで地域全体の売上向上を図る。 ・加工所及び事務所等整備費：496,379千円 ・チャレンジショップ整備費：29,705千円 ・建物外構設備整備費ほかの効果促進事業：93,506千円  ヒト・モノ・コトを 「ALLみぶ」で つないでいく		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+833,970千円） ②施設利用者数（+690,211人） ③販売するオリジナル商品の種類（+23品） ④商業施設の立寄り割合（+9.00%）	関連URL	調整中

申請者	栃木県壬生町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	43,738千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	本事業により、町民の起業を促すとともに、町民による新たな地域活動を促進し、空き店舗等の利活用による定住人口の増加や、地域の経済活性化及びコミュニティの活性化を図る。これにより、地域の人口減少や地域経済の衰退等の空洞化の抑制、地域の課題解決を目指す。		
整備内容・利活用方策	旧庁舎の会議室棟であった「ひばり館」をリノベーションし、地域住民の交流促進や経済活性化の起点となるエリアとして整備する。これにより、壬生町内に新しい仕事・町民活動を生み出し、相乗的に本町の魅力を向上させる。 ・建築リニューアル工事費：34,991千円 ・コミュニティ広場・イベントスペース整備工事：120,000千円（うち、交付対象事業経費：8,747千円）		
KPI	①地域の人口・世帯数（+220人） ②みぶりんを活用した新規団体立ち上げ数（+105団体） ③コミュニティカフェ売り上げ（+1,350千円） ④チャレンジショップ出店者数（+33店舗） ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値		
関連URL	調整中		

